

【重点分野－3】2025年10月連合本部LINE労働相談実施報告

連合本部は、10月20日（月）～21日（火）にかけて、2025年度地域別最低賃金額周知の一環として、LINE労働相談「あなたの賃金大丈夫？～2025年度地域別最低賃金が改定されました～」を実施した。

この取り組みは、寄せられた相談内容をもとに、働く上で抱える悩みや不安に対する労働相談へ回答するとともに、組合結成や連合の政策・制度への反映をはかることを目的に実施した。

I. 日時：2025年10月20日（月）～21日（火） 10時～15時

II. 相談総件数：104件（20日：50件、21日：54件） ※無応答、キャンセル等含

III. 対応相談員：21名（連合本部スタッフ）

IV. 相談概況

～全体の特徴～

※属性については、相談者アンケートに回答のあるもののみ集計

（1）女性の相談が8割超、40代からの相談がトップ

性別では男性（19.3%）、女性（80.7%）と女性からの相談が8割を超し、年代別では40代（32.2%）、次いで20代（29.9%）、30代（26.4%）と続いた。

（2）正社員の相談が6割弱、「医療・福祉」がトップ

雇用形態別では、正社員（59.0%）が最も多く、次いで、パートタイマー（21.7%）、契約社員（7.2%）となった。業種別では、「医療・福祉」（34.8%）が最も多く、次いで「その他サービス業」（22.7%）、「情報通信業」（9.1%）と続いた。

（3）相談内容は大項目「賃金関係」、詳細項目「パワハラ・嫌がらせ」がトップ

相談内容の大項目別では、「賃金関係」（22.0%）が最も多く、次いで「労働契約関係」（19.7%）、「差別等」（18.9%）の順となった。

詳細項目別では、「パワハラ・嫌がらせ」（17.3%）と最も多く、次いで「雇用契約・就業規則」（15.0%）、「休日・休憩」（7.1%）の順となった。

以 上

10月LINE相談に寄せられた労働相談
(性別、年代、雇用形態、業種／地域)

■賃金関係（最低賃金、賃金未払、昇給関連など）

- 最低賃金が引き上げられて時給が上がったものの、人件費を抑えなければ会社が倒産すると言われ、週5日の契約を週3日に減らされた。(女性、40代、パート、製造業／近畿)
- 最低賃金を下回っているように思うが、経営者から月給は変わらないと言われた。(男性、20代、正社員、不動産業／関東)
- 雇用されてしばらく経過した後、ハローワークの募集賃金が自分の雇用契約書の金額を上回った。未払いとして請求できるか。(女性、30代、正社員、医療、福祉／北陸)
- 常勤と契約社員までは物価高につき、手当があった。しかし非常勤のパートには払われなかった。業務内容に相違はない。こういう対応に問題はないのか。(女性、40代、パート、医療、福祉／東北)

■労働契約関係（雇用形態、雇用契約・就業規則など）

- 雇用契約書の特記事項に記載されている資格取得祝い金に関して、今年の退社を伝えたところ、会社から祝い金を支払わないと言われた。雇用契約書に記載されていても退職を伝えたら支払われないものなのか。(男性、30代、正社員、医療、福祉／関東)

■労働時間関係（週40時間、休日・休憩など）

- シフトに勝手に時間外勤務を入れられる。場合によっては深夜2時～午前11時まで全く休憩なし。1分でも遅刻すると、30分余分に働いてくよう言われる。(女性、50代、正社員、医療、福祉／東海)

■雇用関係（解雇・退職強要・契約打切など）

- 月に1度ほど子どもの体調不良で休暇を取得していたが、第二子妊娠を告げると解雇を言い渡された。妊娠による解雇ではないと言われた。(女性、20代、正社員、医療、福祉／関東)

■退職関係（退職手続、退職希望など）

- 自己都合退職とされたが、離職はパワハラが原因であり、会社都合退職としてもらいたい。ハローワークにも相談したが会社側は主張を認めない。(男性、30代、正社員、その他サービス／東北)

■安全衛生関係（労働災害、安全衛生など）

- 健康診断を正社員は勤務時間中に行っているが、パートは勤務時間外。パートの時給は発生しないのか。(女性、40代、パート、その他サービス業／九州)

■差別等（パワハラ・嫌がらせ、セクハラなど）

- 休職の期間が長くなれば長くなるほど、評価に関係してくると話があった。中途入社、入社3ヵ月で指導担当の嫌がらせで休職に至ったが、納得できない。(女性、30代、正社員、医療、福祉／東北)

以上